

白内障エビデンスクラブ Vol.3

第1部 角膜形状異常眼の白内障手術



座長 宮田眼科病院
宮田 和典 先生



白内障手術における
角膜屈折力
複数の機器での比較

筑波大学
長谷川 優実 先生



角膜移植術後眼の
白内障手術における
眼内レンズ度数
計算式の精度

慶應義塾大学
鳥居 秀成 先生



特殊症例における
ARGOS®の
測定成功例

慶應義塾大学
鳥居 秀成 先生

宮田眼科病院
森 洋斉 先生

円錐角膜の
白内障手術

演者



屈折矯正手術後眼における
眼内レンズ度数計算式の検討

カリフォルニア大学
後藤 聡 先生

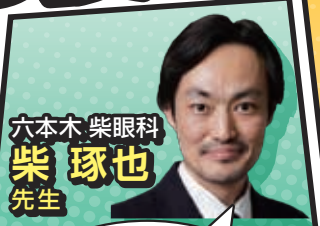


白内障手術における
乱視マネージメント

北里大学
神谷 和孝 先生

お役立ち情報

第2部



六本木 柴眼科
柴 琢也 先生

ARGOS®で
どこまでいけるか



宮田眼科病院
森 洋斉 先生

長期安定性を
追求したClareon®

座長抄録

元来、医師はエビデンスを元に患者の治療にあたる。重要なはそのエビデンスの質である。そこで我々は、臨床で直面する白内障の諸問題を、いわゆる個人的感想や不十分なデータによる評価ではなく、臨床研究をもとにした確固たるエビデンスを元に解決する白内障エビデンスクラブを立ち上げた。メンバーは、白内障分野でこれまで十分実績を上げてきた臨床研究のエキスパートたちである。エビデンスクラブの第3回目のテーマは、角膜形状異常眼とした。今回のセミナーは、2部構成になっている。前半では6月に実施した“角膜形状異常眼についての座談会”のサマリーを、各演者から簡潔にお話しただく。より詳しい内容をご希望の先生は座談会の映像を参照いただきたい。後半では、エビデンスクラブのメンバーから、眼軸長測定機器、眼内レンズについて、明日から役に立つ情報をお届けする。本セミナーが先生方の明日からの臨床に応用できるエッセンスとなれば幸いである。

共催：第76回日本臨床眼科学会／日本アルコン株式会社